

「ロングマンを EPWING 形式に変換する」ガイド

このガイドは、ロングマンの書籍第 4 版 (LDOCE4) を EPWING 形式に変換する方法を NOMAD さんの「LDOCE 変換スクリプト」のページ <http://hp.vector.co.jp/authors/VA005784/longman4/> を参考に、より初心者向けに Win XP を対象に解説しました。

Win XP 以外の OS および操作内容についてのご質問にはお答えできませんので、ご了承の上、ご自身の判断において作業を行ってください。

※コマンドの入力は慎重に一字ずつ確認してください。

作業の流れ

I 作業するフォルダを作成



II Lhaca デラックス版(解凍ソフト)をインストール



III ロングマン書籍第 4 版(LDOCE4)をインストール



IV Ruby(オブジェクト指向スクリプト言語)をインストール

V LDOCE 変換スクリプトをダウンロード、実行



VI EBStudio (JIS X 4081 形式の辞書を作成するツール)をインストール



VII EBStudio で実行

I 作業するフォルダを作成

C ドライブ「ruby」

・・・ruby インストール先フォルダ

C ドライブ「LDOCE4」

・・・ロングマン インストール先フォルダ

C ドライブ「EPWING¥LDOCE4」

・・・EPWING 化したロングマンを書き出すフォルダ

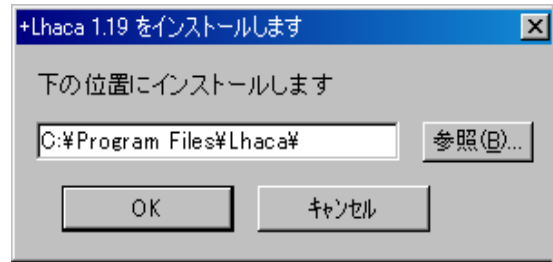
C ドライブ「work」


・・・LDOCE4 変換スクリプトダウンロード先フォルダ

「ロングマンを EPWING 形式に変換する」ガイド

II Lhaca デラックス版(解凍ソフト)をインストール ※既にインストールされている方は 5 の設定を行ってください。

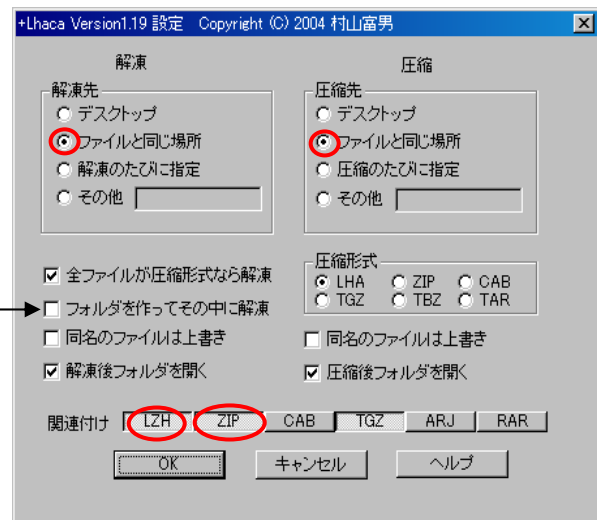
1. vector のサイト(<http://www.vector.co.jp/>) 内 に [lhaca] と入力し、キーワード検索を行う
2. Lhaca デラックス版 1.19 をクリックし、任意の場所にダウンロードする
3. ダウンロードした[lhaca119.exe]をダブルクリックし、
C:\Program Files\Lhaca\ にインストールする



4. デスクトップに作成されたアイコン  をダブルクリックで実行

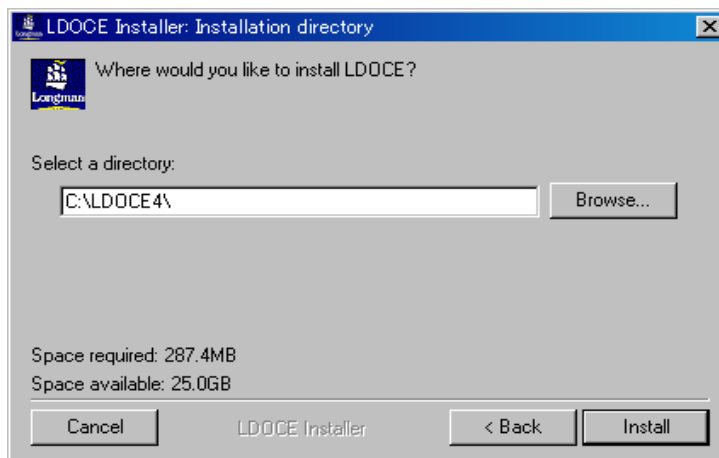
5. 右記のように設定する

今回に限りチェックは入れない



III ロングマン書籍第 4 版(LDOCE4)をインストール

1. 書籍に添付されている CD-R から Full または Standard で、C ドライブ「LDOCE4」フォルダにインストールする



末尾の LDOCE は消す

「ロングマンを EPWING 形式に変換する」ガイド

IV Ruby(オブジェクト指向スクリプト言語)をインストール

1. Ruby のサイト(<http://www.ruby-lang.org/ja/>) 内 左フレーム [ダウンロード] → **Ruby 本体** をクリック

2. 「Downloadable Items」内の

mswin32 をクリック

Downloadable Items

- [Ruby version 1.8.1](#)
- [Ruby version 1.8.2 preview2](#)
- [Ruby リファレンスマニュアル\(日本語版\) スナップショット](#)
- [Ruby 1.6.6 リファレンスマニュアル\(日本語版\)](#)
- [Ruby 1.4.6 リファレンスマニュアル\(日本語版\)](#)
- [Ruby 1.4.6 リファレンスマニュアル\(英語版\)](#)
- [Ruby 1.6 リファレンスマニュアル\(日本語版\)とRDP](#)
- Windows版Ruby

どれをダウンロードすればいいのかわかるMicrosoft Windows版のビルド環境による違いを

• [cswin_digpp_mingw](#)

• **mswin32**

3.左フレーム [Download] → **Release** をクリック


Ruby-1.8.1-i386-mswin32.zip をクリック →

保存 → C:\ruby フォルダへダウンロードする

Release

1.8

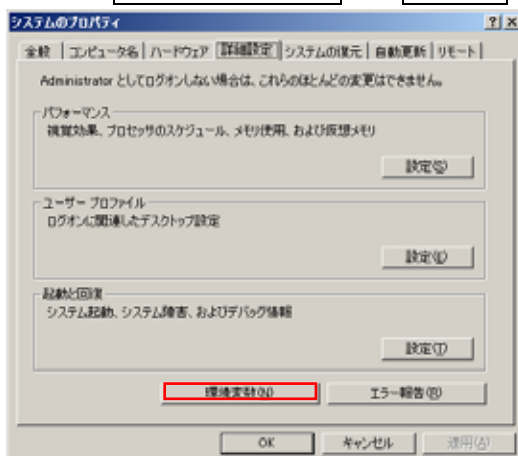
- **ruby-1.8.1-i386-mswin32.zip** (3,764KB) **最新Release版**
ruby 1.8.1 (2003-12-25) [i386-mswin32]
md5sum : 6bbdabeb29f1a15fa69901e87d1108ac
- [ruby-1.8.0-i386-mswin32.zip](#) (2,507KB)
ruby 1.8.0 (2003-08-04) [i386-mswin32]
md5sum : eaf9263062429fd4f722d9a70a38a9dc

4.ダウンロードした「Ruby-1.8.1-i386-mswin32.zip」をデスクトップのアイコン  へ重ねるようにドラッグする。

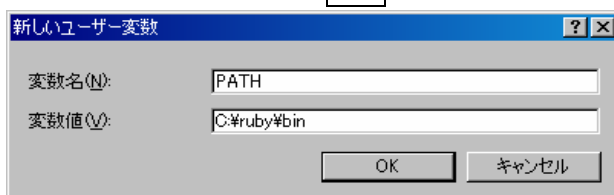
C:\ruby フォルダ内に解凍される。

5.PATH を ruby の bin ディレクトリへ通す

5-1. Windows **コントロールパネル** → **システム** → **詳細設定** → **環境変数** をクリック



5-2.上段のユーザー環境変数 **新規**をクリックし、下記のように入力 → **OK** 画面を閉じる



PATH

C:\ruby\bin


既に、他のパスが通っている場合は、**編集**で ;C:\ruby\bin と ;(セミコロン)で区切って追加入力する

「ロングマンを EPWING 形式に変換する」ガイド

V LDOCE 変換スクリプトをダウンロード、実行

1. LDOCE4 変換スクリプトのサイト (<http://hp.vector.co.jp/authors/VA005784/longman4/>) より

ldoce4conv103.zip をクリックして **保存** → C:\work フォルダへダウンロードする

2. ダウンロードした「ldoce4conv103.zip」をデスクトップのアイコン  へ重ねるようにドラッグする。 :
C:\work フォルダ内に解凍される。

3. C:\work フォルダ内 「zlib.dll」を C:\ruby¥bin 内に移動する (ruby.exe と同フォルダ内)。

C:\work フォルダ内 「zlib.dll」は、削除する。

4. ruby の互換モードを変更する

C:\ruby¥bin 内の ruby.exe を右クリック → **プロパティ** → **互換性タブ** →

互換モードでこのプログラムを実行するに

windows98 / windows Me を選択

● LDOCE4 変換スクリプトを実行する

windows **スタート** → **ファイル名を指定して実行**

名前: ruby -Ks C:\work¥LDOCE4Conv.rb C:\LDOCE4 C:\EPWING¥LDOCE4 と入力して **OK** をクリック

※数時間要します。

VI EBStudio (JIS X 4081 形式の辞書を作成するツール) をインストール

1. EB series support page のサイト (http://www31.ocn.ne.jp/~h_ishida/) 内 **EBStudio1.64** をクリック

2. ダウンロードより **ebstd164.exe** をダブルクリックして → **保存** 任意のフォルダにダウンロードする。

3. ダウンロードした **ebstd164.exe** をダブルクリックしてインストールする

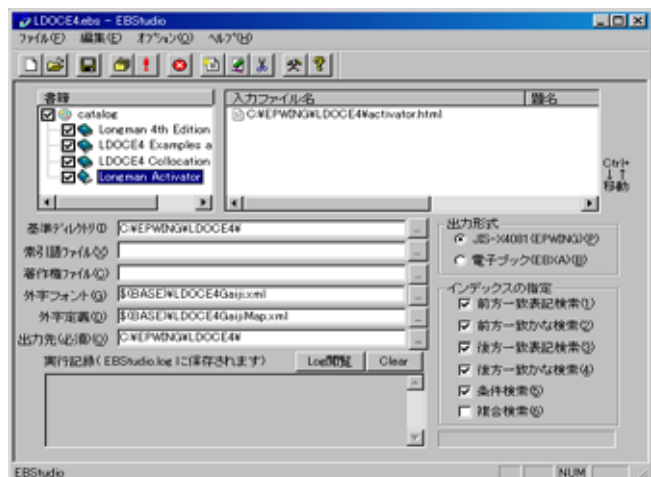
VII EBStudio で実行

1. デスクトップに作成されたアイコンより EBStudio を起動する

2. Cドライブ EPWING¥LDOCE4 内の LDOCE4.ebs を **書籍** 欄にドロップする

3. 設定を何も変えずに

ファイル → **実行** で実行する



4. Cドライブ EPWING¥LDOCE4 内に EPWING 形式のデータが作成された

5. 「対訳君」を起動 辞書枠 **オプション** → **辞書の追加と削除** より **EPWING・システムソフト形式** にて辞書の登録を行う

※ EBStudio で、前方一致検索以外を作成するには、EBStudio のライセンスの取得 (1000 円) が必要となります。